



# みなとしみず

国土交通省中部地方整備局  
清水港湾事務所  
御前崎事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所  
静岡市清水区日の出町7番2号  
TEL. 054-352-4146(代表)  
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

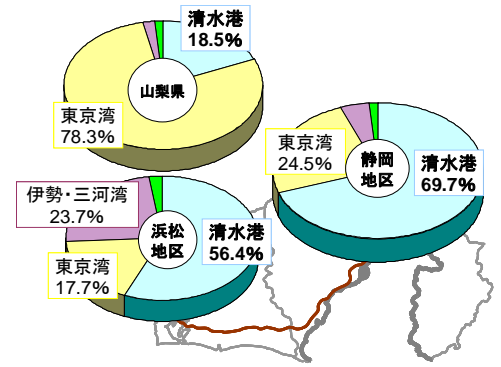
## 港の将来像を描くため～コンテナ流動調査始動～

国際海上コンテナ貨物の流動実態を的確に把握し、我が国の国際貿易の進展に対応したより効率的なコンテナ輸送体制を確立するための基礎資料とするために、「コンテナ流動調査（正式名：全国輸出入コンテナ貨物流動調査）」が、今年11月1日から30日までの1ヶ月間実施されます。

この調査は、これまでに9回実施されており、前回は平成15年に調査を行いました。実施にあたって、静岡県内では、静岡市と沼津市で通関業者の方々を対象にした説明会を開催しました。

調査結果は、コンテナターミナルや関連施設の整備計画の策定等に広く利用されているほか、港湾管理者、関係団体さらには民間事業者等において、事業計画立案等の基礎資料として有効に活用されています。

今回の調査結果は、今後の港湾利用・整備のために、役に立つものと期待しています。



## ファインダーの向こう

この頃は自転車によく乗っています。いまは幅広い世代で自転車が流行っていて、ぴかぴかのロードレーサーに乗っている人をよく見かけます。私はといえば、小さな車輪の自転車でのんびり走っています。住まいの近くには日本平があり、天気の良い日にはこの写真のように、お茶畑の向こうに清水港や富士山の眺めを楽しむことができます。とはいっても登りは大変で、景色を楽しむ余裕もあまりありません。

清水では、都会と比べれば自転車を楽しむことができる道も多いと思いますが、混雑している場所や、狭い歩道を走らなくてはいけないところでは安全に気を使います。自転車で楽しく安全に走ることができる道が増えて欲しいと思います。

自転車を漕いでいると景色を楽しむことができ、行動範囲も広がります。気分も爽快になり、健康にもよいといえることばかりです。

ところで、移動のエネルギー効率を比べると、自転車は最も効率的だそうです。(出典：自転車博物館サイクルセンターのサイト)例えば、1km移動するのに必要なエネルギーを移動手段の重さ1グラムあたりで比較すると、歩く場合には0.75カロリー必要なのに比べて、自転車では0.15カロリーですむそうです。自動車では、0.8カロリーだそうです。一見、歩くのとあまり変わらないように思えますが、車の重さを1トンとすると約20倍も徒歩と比べてエネルギー効率が悪いことになります。

皆さんも、たまには自転車に乗って家の周りを走ってみてはいかがでしょうか？きっと新しい発見があると思います。



「お茶畑の向こうの清水港」

Photo : A. Fujii

# みなとへの思い 下田市長 石井 直樹

下田港には下田の生活・文化・産業経済・交通等のあらゆる機能が集約しており観光交流や市民生活の中心的拠点としての役割を果たしているとともに、黒船来航や日米和親条約締結の舞台となった歴史ある港でもあります。毎年5月には「黒船祭」が港湾部を中心に開催され、「開国のまち」下田市を象徴する一大イベントになっております。

下田港は昭和26年に避難港の指定を受け、昭和60年度より国の直轄事業として外防波堤の建設に着手していただき、泊地の拡大とともに近い将来予想されます東海地震による津波対策として大きな役割を果たすことが期待されています。また内港部でも静岡県により避難船の収容能力向上を目的に避難・係留岸壁新設工事も進められており、避難港としての機能拡充はもとより災害に強く安全な港として発展していくことが望まれております。



黒船祭 (パレード) [5月]



国際カジキ釣り大会 [7月]

当市では毎年国際カジキ釣り大会が開催され、今年では第30回記念大会となり、111チームもの参加艇が下田港に集い、釣果も含め過去最高記録の大会となりました。本大会は年々規模が大きくなっており、海洋レジャー基地である下田港を全国にアピールするとともに、港がまちの大きな活力であることを再認識いたしました。

しかし下田港は船舶の係留場所が少ないため、効率の良い港湾部の利用が課題でもあります。

都市機能を備えた歴史ある港の高度利活用を促進し、避難港湾、物流港湾、海洋レジャーを含めた観光港湾などの機能に着目した総合的な整備を推進していきたいと考えております。また下田港の持つ魅力を活用、再認識し、地域産業及び経済の活性化を図りたいと考えております。



道の駅 開国下田 みなと (ベイステージ 下田)



まどが 浜海遊公園



物揚棧橋建設事業



下田港全景 H19. 11. 19 撮影



下田港外防波堤建設事業

## 航行船舶の安全を守る避難港 ～下田港～

今年は台風の襲来数が少ないと言われていましたが、先日台風13号が来襲し、大きな被害を受けた地域もありました。その後も、15号、16号と次々と発生しており、今後も油断を許さない状況です。

海上を航行する船舶は、台風や冬場の季節風などの悪条件下では運航が困難になる事があります。特に500トン以下の小型貨物船は、早めに安全な水域に避難をする必要があります。そのために、全国に避難港が整備されており、下田港もそのひとつです。

下田港は、海難事故の多発する石廊崎の近くに位置し、古くから荒天時における船舶の避難場所として利用されてきました。

現在、清水港湾事務所では、安全に避難できる水域を拡大するために、平成30年を目途に外港防波堤を建設中です。この防波堤には津波防護の効果もあることから、地震防災面からも期待されています。



下田港に避難する貨物船の様子

## 第25回日本物流学会全国大会が清水で開催される！

日本の物流を考える日本物流学会の第25回全国大会が、9/5、6の二日間にわたり、静岡市清水区の静岡市東部勤労者福祉センター（清水テルサ）にて開催されました。東海地震が危惧される静岡県における開催ということもあり「物流とリスク管理」が統一のテーマとして行われました。

初日は、実行委員長の篠原正人東海大学教授による挨拶の後、基調講演「静岡県の社会資本整備とリスク管理」（静岡県建設部港湾局長 角浩美氏）及び、統一テーマ講演「ヤマハ発動機における東海地震対策について」（ヤマハ発動機株式会社 吉本勇氏）、「鈴与物流事業BCP策定の取り組み」（鈴与株式会社 佐原章友氏）、「物流リスクマネジメントと保険の役割」（三井住友海上火災保険株式会社 横山健一氏）がそれぞれ報告され、聴講者からは各講演者に対し、リスク管理の考え方や、実際の取り組みに対する質疑が活発に行われました。

二日目は、東海大学海洋学部に移し、普段から物流に携わる企業の方や、学識経験者、学生等により、39題の報告が行われました。



会場：静岡市東部勤労者福祉センター（清水テルサ）



篠原正人東海大学教授の挨拶

### 日本物流学会 (Japan Logistics Society)

設立：昭和58年(1983年) 会員：522名(2007年9月時点)

目的：ひろく物流研究を行うとともに、物流研究にたずさわる者の研究成果の発表と相互交流を通じて物流に関する学問体系の確立に資することを目的とする。

活動：全国大会をはじめ各地域での定期的な研究会、若手研究者による研究会を開催するほか、学会誌「日本物流学会誌」を刊行。

HP <http://www.logistics-society.jp>

## 防災訓練～港湾機能の早期復旧を目指して～

万が一の災害時に即座に対応できるよう、9月1日の防災の日に、防災訓練を実施しました。

当日は、中部地方整備局の災害対策本部（名古屋市内）と連携し、地震発生のお知らせを受けて、中部地方整備局の防災ヘリコプターの「まんなか号」が上空から被災状況を確認し、本部を経由して清水港湾事務所へ情報伝達を行う訓練でした。さらに、本部～事務所間でTV会議システムを使用し、被災箇所の応急対応の状況報告を行う訓練も実施しました。

今回の訓練を踏まえ、災害発生時には、港での緊急物資の円滑な受け入れや、港湾機能の早期復旧を目標に、常日頃より備えてまいります。



# 最後の... 港うお(魚)ツチャー

ハタ編











(釣りバカカリチョー  : 監修)




マハタ (全長30cm)



オオモンハタ (全長25cm)

-  秋の行楽シーズンです。
-  久しぶりに里帰りしてきましたよ。そう、駿河湾の深いとこね。
-  そうだったね、ベエずは駿河湾生まれ。道中混んでなかったかい？
-  出鼻は相変わらずのシラス渋滞、やっと抜けたと思ったらサバ渋滞、途中タイに煽られ無事到着したところでいつもの深海の仲間が出迎えてくれたよ。帰りはその逆さ。
-  ってことはさぁ興味本位になりますが、いつもお世話になっているホームグラウンドの三保周辺の様子とか見てきたんでしょ、ねえどうだった？ 混み合ってた？
-  混んでたねえ、イナダ、カツオに、サバ、カンパチ。いつものメンバーに加え今年はハタ系でごつた返しててさぁ、マハタ、オオモンハタの姿が目立ってたぞ。釣るには魅力的な高級セブターゲット。
-  ハタはたいへん美味と聞くけど。
-  中々お目にかかれない希少な存在。ほどよく脂がのって、あっさりした弾力のある癖のない白身の肉質に、皮下のゼラチン質がコクを生む。煮付け、蒸し物、大型は鍋に最高の食材だ。
-  生態をご紹介。マハタなんか生まれたすぐは全部メス。大型になるとオスに性転換するって言うからややこしい。若魚の時期は浅場にいるが成長とともに深場に生息するようになる。かなり大型になる種だがその頃は係長の腕では如何ともしがたい域。30センチくらいまでなら三保で勝負できる。メタルジグで底を叩いて姿を拝むべく Let`s enjoy fishing!!! だ。
-  ハタの煮付けかぁぁ、こりゃたまらん。さっそく行ってきま〜す。

カカリチョー！今までとっても楽しかったよ。本当にありがとう！では、ごきげんよう♪ 

## 釣りバカカリチョーからのお知らせ

この度、駿河湾から伊勢湾担当に人事異動になってしまいました。駿河湾の豊富な資源と抜群の釣り環境に感謝して、当コーナーを最終回とさせていただきます。清水港、どーもありがとう、駿河湾は永久に不滅です。



マックにアオリイカを見せる釣りバカカリチョー

## 航路標識測定船「つしま」一般公開

航路標識の機能などを測定するために整備された世界で唯一の船舶である、海上保安庁の航路標識測定船「つしま」が清水港に入港します。

- 入港日時：平成20年10月31日(金) 午前9時
- 入港場所：清水港日の出埠頭5号岸壁
- 一般公開：平成20年11月1日(土)
- 問い合わせ：清水海上保安部交通課 (担当:宮本)  
Tel 054-355-0225



- 全長：75.0m
- 幅：12.5m
- 総トン数：1,706t

## = 売土地のおしらせ =

国有地の売払を行います。詳しくは下記まで問い合わせください。

物件：御前崎市白羽字間藤原 5407-16  
 宅地 1148.02㎡  
 (347.27坪)  
 工作物 1式

入札：平成21年1月中旬予定  
 問い合わせ：国土交通省 中部地方整備局  
 清水港湾事務所 (管財係:河合)  
 Tel 054-352-4146

■問い合わせ受付期間■  
平成20年10月14日(火) 17:15まで

## 海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル  
おーい よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間:9時~12時、13時~17時(土・日、祝祭日は除く)  
☆携帯電話からもご利用いただけます☆

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみななどに関することは何でもお問い合わせください

### ■本誌に関するお問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課  
 太田・屋敷  
 Tel 054-352-4148  
 e-mail  
 shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp